

トヨタ純正

フェンダーランプ(デザインタイプ)

取付要領書

このたびは、トヨタ純正 フェンダーランプ(デザインタイプ) をお買いあげいただきましてありがとうございます。

本書は、フェンダーランプ(デザインタイプ) の取り付け要領について記載してあります。

取り付けの前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品 番

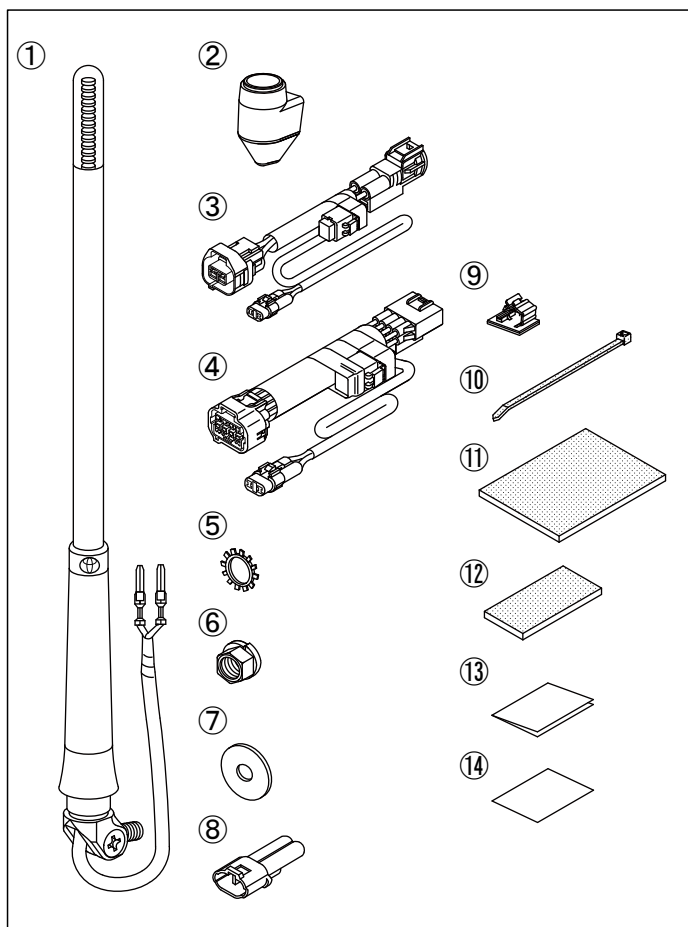
品 番

08510-B1250

08510-B1260

構成部品名

・取り付けの前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください。



No.	品 名	08510-B1250	08510-B1260	補修品 有無
①	フェンダーランプAssy	1	1	有
②	タッチ	1	1	無
③	サブハーネス (2極)	1	—	無
④	サブハーネス (8極)	—	1	無
⑤	ツースドワッシャ	1	1	無
⑥	スプリングナット (M8)	1	1	無
⑦	ワッシャ	1	1	無
⑧	ハウジング	1	1	無
⑨	シェルクリップ	2	2	無
⑩	クランプ	7	7	無
⑪	ウレタンフォーム (大) (95×70×5)	1	1	無
⑫	ウレタンフォーム (小) (60×35×5)	1	1	無
⑬	取扱書	1	1	無
⑭	型紙	1	1	無
—	取付要領書 (web)	—	—	無

補修品

ポールサブ Assy
補修品番 : 08511-00A40

1



トヨタ自動車株式会社

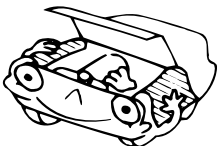
電装用品取り付け上の注意

このたびは、純正部品をお買上げいただき、ありがとうございます。

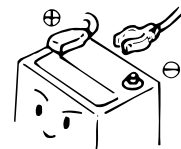
電装用品を正しく取り付けいただくために、この「電装用品取り付け上の注意」を必ずお読みください。誤って取り付けた場合、電装用品の機能を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながる恐れがあります。しかも、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。

取り付ける前に

- (1) 車両を汚したり、傷を付けないように作業部周辺にはカバーを付けてください。



- (2) ハーネスのショート事故防止のため、必ずバッテリーの(－)端子を外してください。



部品の取り付けは

- (1) 裏側のハーネスをかみ込んで、ボルト・ナットを締め付けないでください。



- (2) 取り付け穴をあける時は、必ず裏側になにも無いことを確認してください。

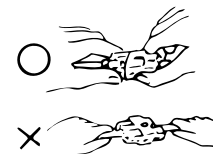


ハーネスの配線は

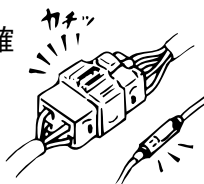
- (1) 車両ハーネスは、強く引っ張らないでください。コネクタ外れやハーネス損傷の原因になります。



- (2) コネクタは、リード線を引っ張らず、コネクタ本体を持って外してください。



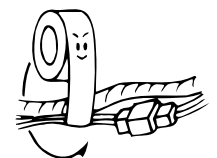
- (3) コネクタやターミナルは確実に接続してください。



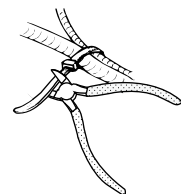
- (4) ハーネスが、車両内側のエッジや高熱部分・可動部分に接触していないか確認してください。



- (5) ハーネスやリード線は、ブラブラしないように車両ハーネス等にまとめ、テーピングで固定してください。

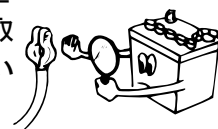


- (6) バンドクランプを使用した箇所は、必ずバンドクランプ先端の余り部を切断してください。

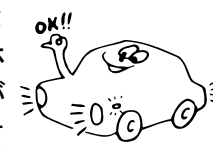


取り付けが終わったら

- (1) バッテリーの(－)端子を接続する前に、いま一度取り付けや配線に誤りがないか確認してください。



- (2) キットの作動確認を行うと同時に、車両のランプ・ホーン・ワイパー等の装置が正常に作動するか確認してください。



取り付け上の注意事項

本書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

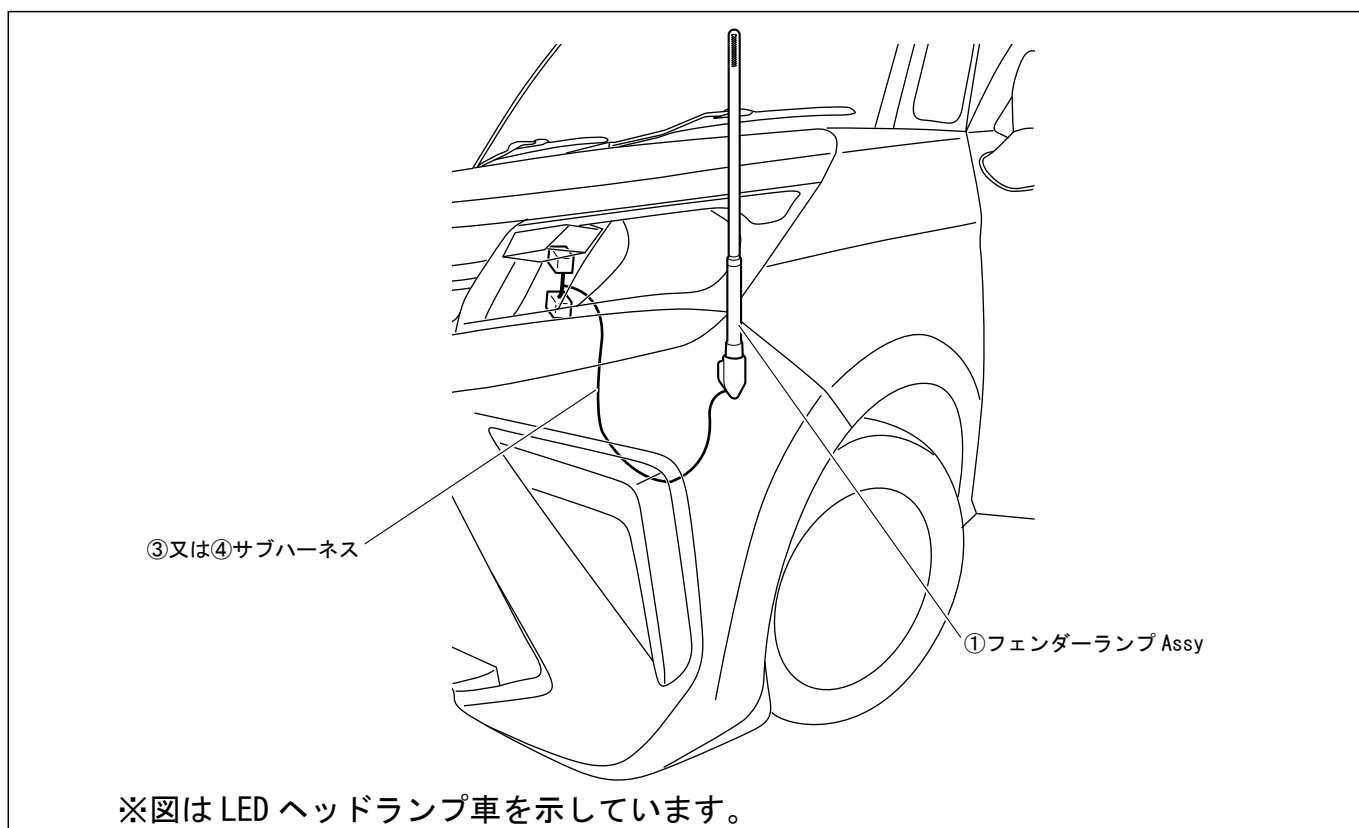
⚠ ご注意	注意事項を守らないと事故、ケガ、車両損傷の恐れがあることを記載しています。
👉 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 電動パーキングブレーキ付き車は必ずスイッチの表示灯が点灯していることを確認してください。
2. 取り付ける前にパーキングブレーキが掛かっていることを必ず確認してください。
3. 取り付ける前にボディ保護のカバーを付けてください。
4. 車両部品の取り外しに際して、タッピングスクリュやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。また、傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
5. 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
6. 貼り付け部位に油脂分や汚れが付いていますと、脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等を使用し、十分に脱脂してください。
7. 脱脂剤等を使用する場合は、火気に充分注意して作業してください。

⚠ ご注意

ワイヤーハーネスは車両板金のエッジ、可動部、樹脂バリに干渉しないように配線し、確実に固定してください。

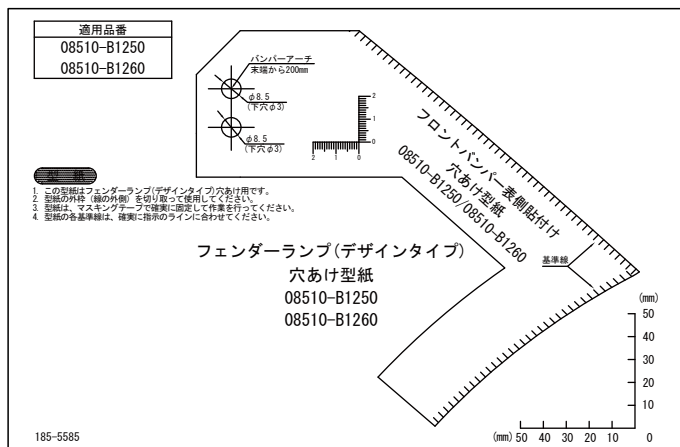
取り付け概要



取り付けに必要な工具等

⊕ドライバ、⊖ドライバ、クリップクランプツール（金属製）、丸棒ヤスリ、メジャー、ケガキ針、電動ドリル、ドリル（φ3、φ8.5）、ニッパー、水準器、マスキングテープ、保護テープ、ガムテープ、スパナ（10、12）、ハサミ、脱脂剤、ウエス、ヤスリ、保護メガネ、サービスマニュアル修理書等

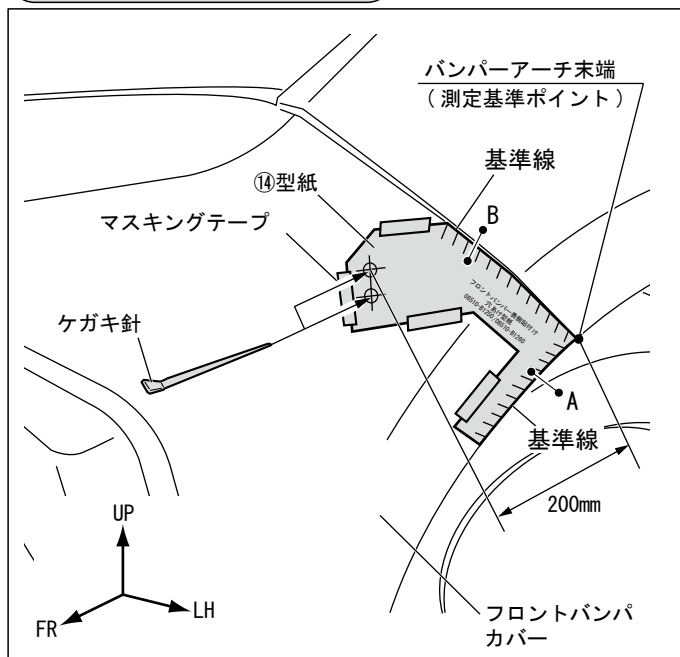
作業前準備



⑭型紙の切り取り

- ⑭型紙の切り取り線(外枠)に沿ってカットし、①フェンダーランプ Assy 用の⑭型紙を準備します。

車両部品の加工

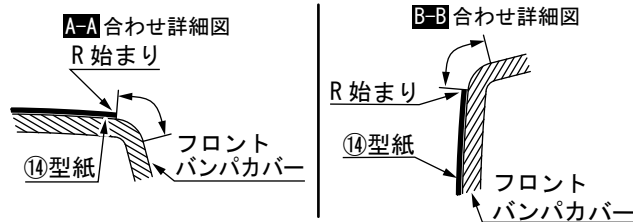


⑭型紙の貼り付け

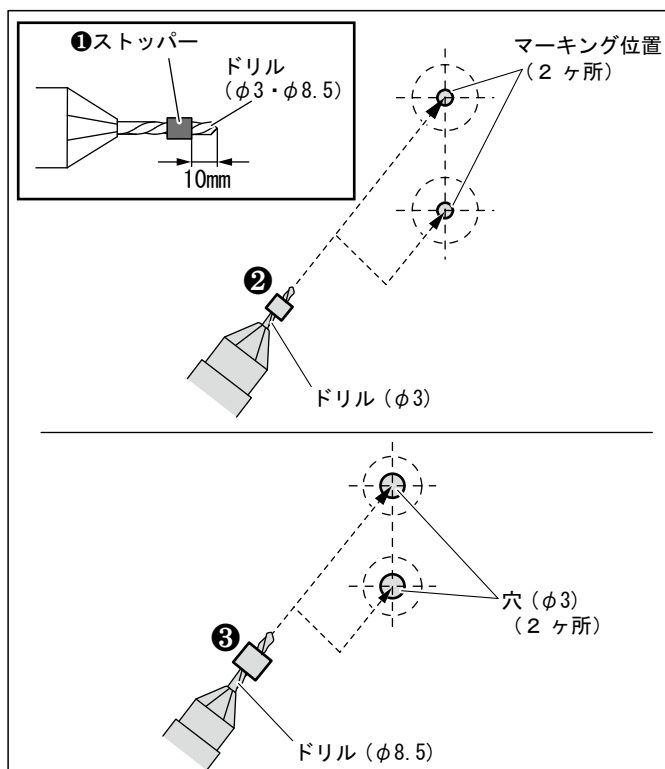
- ⑭型紙をフロントバンパカバーのラインに合わせてマス킹テープで仮固定します。
- フロントバンパカバーの左図バンパーアーチ末端(測定基準ポイント)から面沿いに200mmの位置に⑭型紙上側の穴の中心が来るように調整し、マス킹テープで本固定します。

アドバイス

⑭型紙の基準線は、下図枠内イラストのようにフロントバンパのR始まりに合わせてください。



- ⑭型紙の穴あけ中心位置を⑭型紙の上からケガキ針でマーキングします。(2ヶ所)



車両部品の穴あけ

- 左図を参照し①～③の順番で作業を行います。
 - ドリルの先端から10mmの位置にガムテープを巻いてストッパーをつけます。
 - 車両部品の表側からマーキング位置にドリル(φ3)で面直に下穴をあけます。(2ヶ所)
 - 下穴をあけた位置にドリル(φ8.5)で面直に穴を広げます。(2ヶ所)

△ ご注意

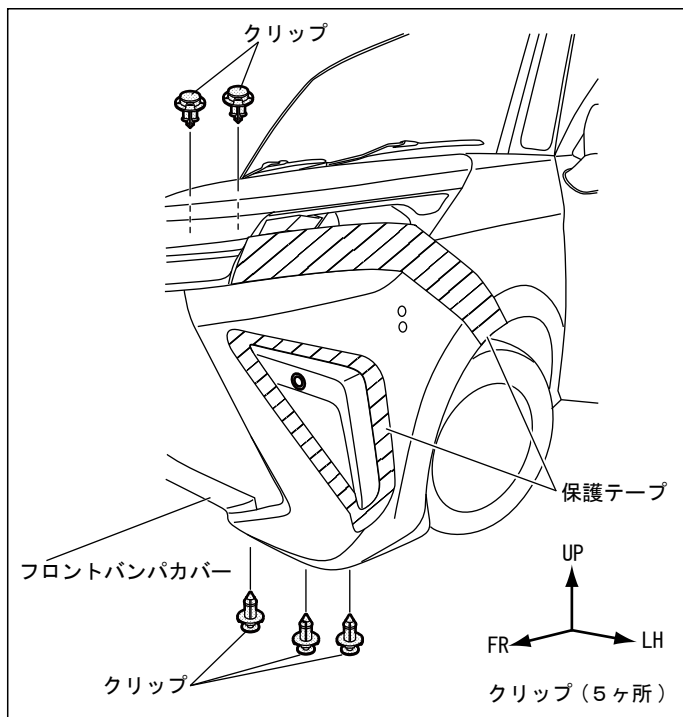
- 穴あけ加工の際は、保護メガネを着用して作業してください。
- 穴あけ加工の際は、巻き込み防止のため、手袋などは着用しないでください。
- ドリルで穴あけ作業する際は、必ず車両部品表側から行ってください。

- 穴あけ部のバリを取り除きます。

△ ご注意

ドリルであけた穴の表面にバリ等がある場合は、丸棒ヤスリで穴径を広げないように注意しながら表面のバリを取ってください。

車両部品の取り外し



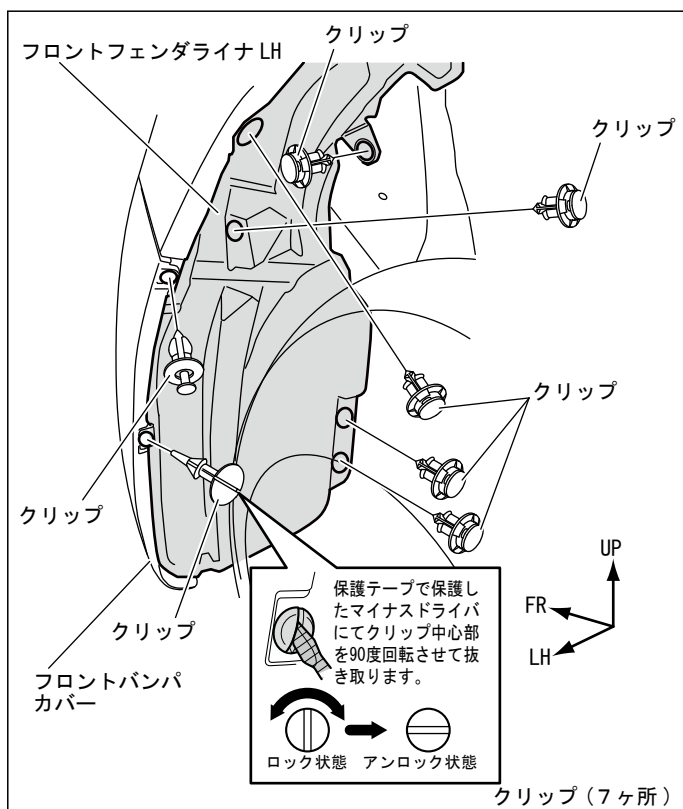
△ ご注意

- ・ 取り外した部品は再利用しますので、大事に取り扱いのうえ、保管してください。
- ・ 指示がある部分は傷付防止の為、必ず保護テープを貼り作業してください。

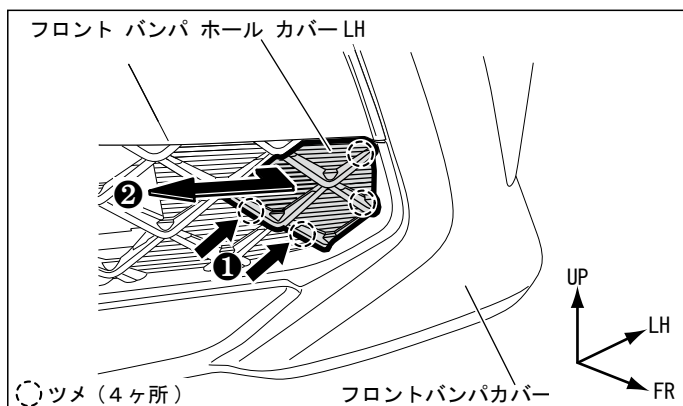
👉 アドバイス

各設定車両のサービスマニュアル修理書を参照し、車両部品の取り外しを行ってください。

- (1) 左図を参照し、フロントバンパカバーのクリップを取り外します。

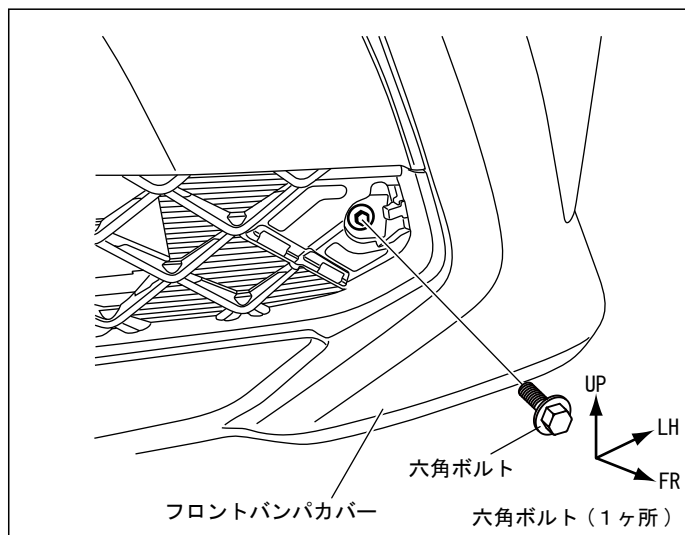


- (2) フロントフェンダライナ LH を固定しているクリップを取り外します。



- (3) フロントバンパホールカバー LH を取り外します。

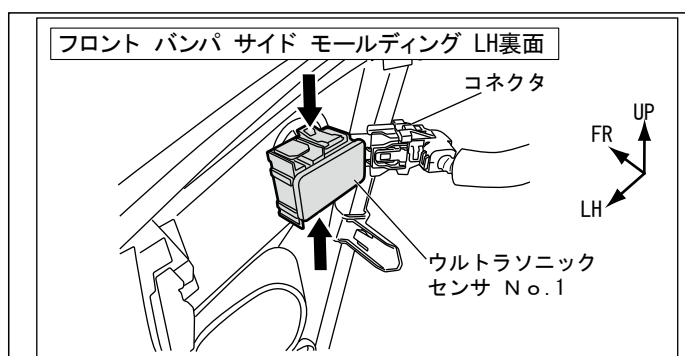
- ① ツメのロックを押し、ロックを解除します。(4ヶ所)
- ② 矢印方向にフロントバンパホールカバー LH を引き抜いて取り外します。



(4) 六角ボルトを取り外します。

△ ご注意

締付トルク T:3.3 ~ 7.7 N・m



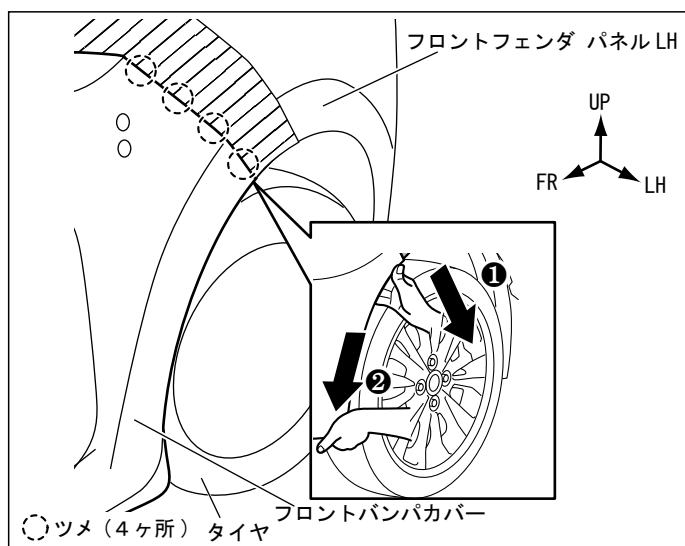
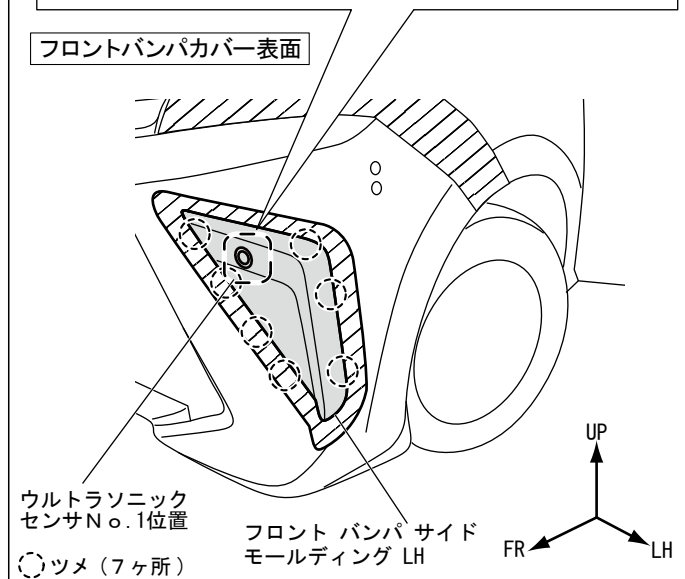
ウルトラソニック センサ No.1 の取り外し
(装着車の場合)

(5) フロント バンパ サイド モールディング LH を取り外します。

(6) 左図を参照しウルトラソニック センサ No.1 のツメのかん合を外し取り外します。

△ ご注意

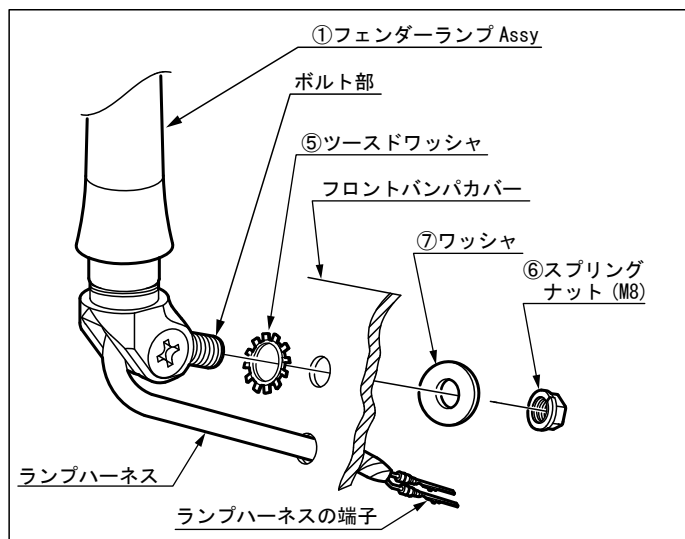
- ・ ウルトラソニック センサ No.1 のコネクタは切り離さないでください。
コネクタを切り離した場合、ソナー機能検査が必要となります。
- ・ 取り外した部品を破損しないように十分注意してください。



(7) タイヤを右側にきり、作業スペースを確保します。

(8) 左図を参照し、フロントバンパカバーを矢印①の方向へ押し下げながら、フロントフェンダ パネル LH とのかん合を外し、矢印②の方向へ取り外し、フロントバンパカバーを浮かせます。

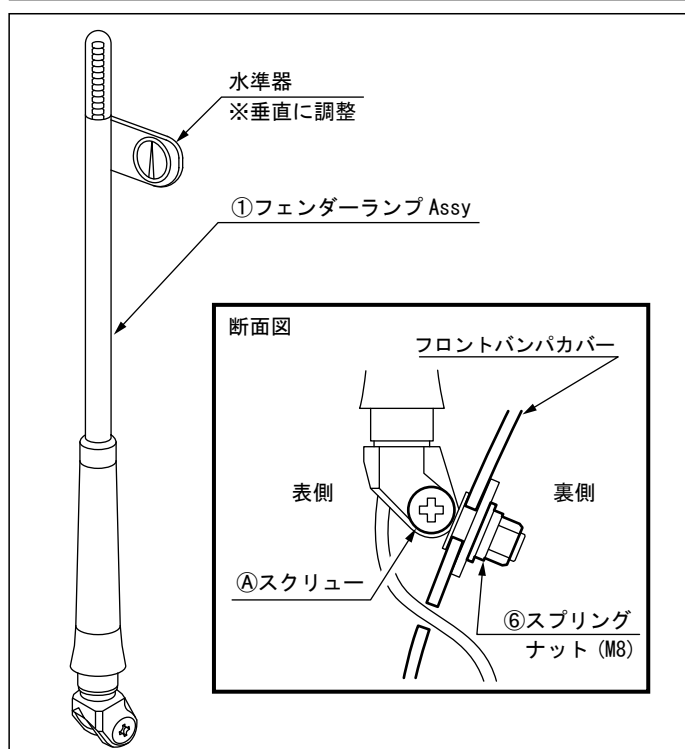
① フェンダーランプ Assy の取り付け



〔本体の取り付け〕

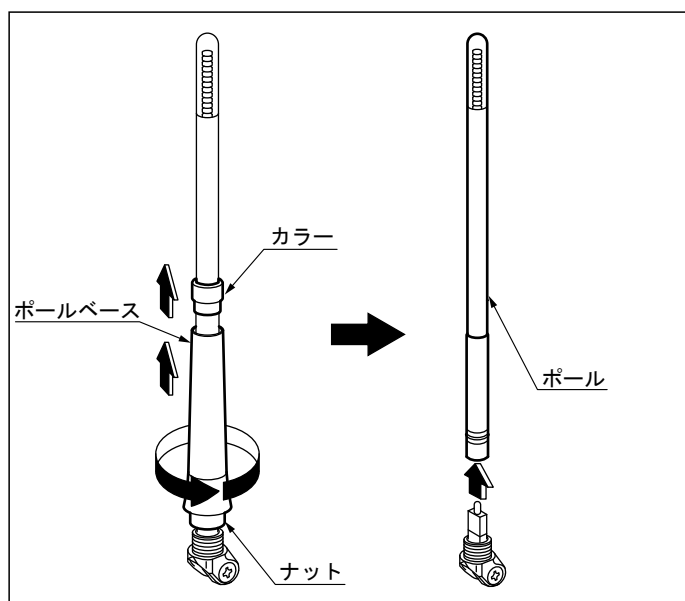
① フェンダーランプ Assy の仮固定

- (1) ①フェンダーランプ Assy のボルト部に⑤ツースドワッシャを介し、フロントバンパカバーにあげたφ8.5の穴（上側）に差し込みます。
- (2) フロントバンパカバー裏側より⑦ワッシャを介し、⑥スプリングナット（M8）で①フェンダーランプ Assy を垂直にして仮固定します。
- (3) ①フェンダーランプ Assy より出ているランプハーネスの端子をフロントバンパカバーにあげたφ8.5の穴（下側）より裏側に通し、浮かせたフロントバンパカバーを仮復元します。



垂直調整

- (1) ①フェンダーランプ Assy のAスクリューを緩め、水準器を用いて①フェンダーランプ Assy を垂直に調整します。
- (2) 垂直調整した①フェンダーランプ Assy のAスクリューを締め、その後仮固定していたフロントバンパカバー裏側の⑥スプリングナット（M8）を締めます。
- (3) 固定した①フェンダーランプ Assy に水準器を用いて、再度垂直を確認します。



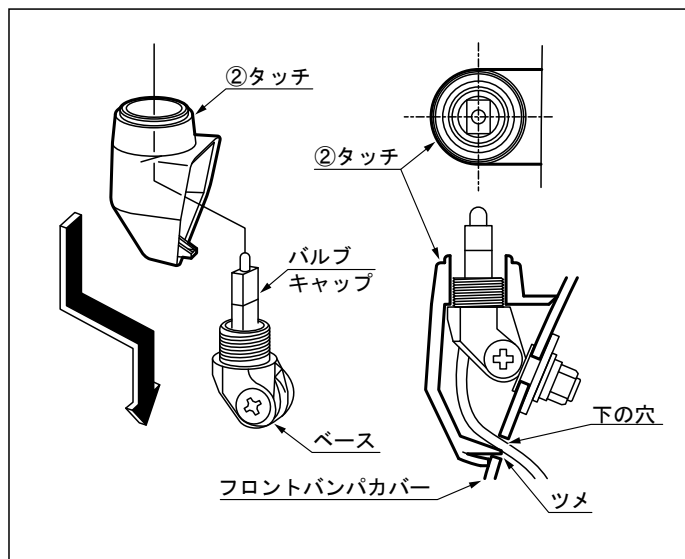
〔本体の組み付け〕

② タッチの組み付け

- (1) ①フェンダーランプ Assy のカラーを上引き抜くように外し、ポールベースを矢印方向に回してナットと共に取り外します。
- (2) ポールを上引き抜くように取り外します。

△ ご注意

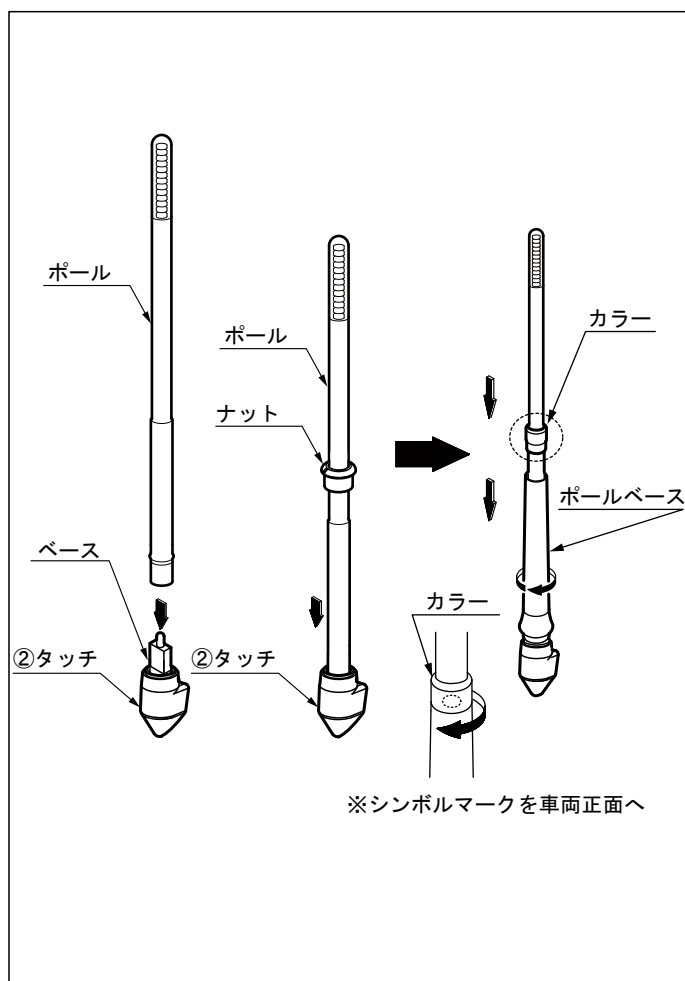
取り外した部品を紛失しないように十分注意してください。



(3) ②タッチをベースに被せます。

⚠️ ご注意

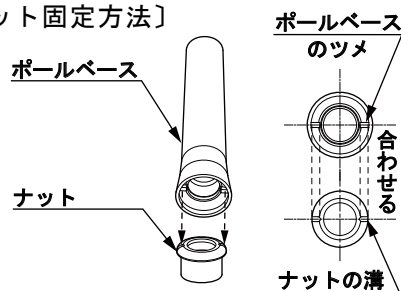
- ・ ②タッチとベースの中心があっていることを確認してください。
- ・ ②タッチをベースに被せる際、ツメを左図のように、下の穴に引っ掛けてください。
ツメが、穴から外れた状態だと、②タッチとフロントバンパカバーに隙間が出来たり、ポールが垂直にならない原因となります。



フェンダーランプの組み付け

- (1) ②タッチを被せたベースにポールを差し込みます。
- (2) ポールにナットを挿入し、ポールベースのツメをナットの溝に合わせ矢印方向に回してベースに装着し、7/16 ページ②タッチの組み付け (1) で外したカラーを取り付けます。
この時、カラーのトヨタシンボルマークを車両正面に向けます。

〔ナット固定方法〕

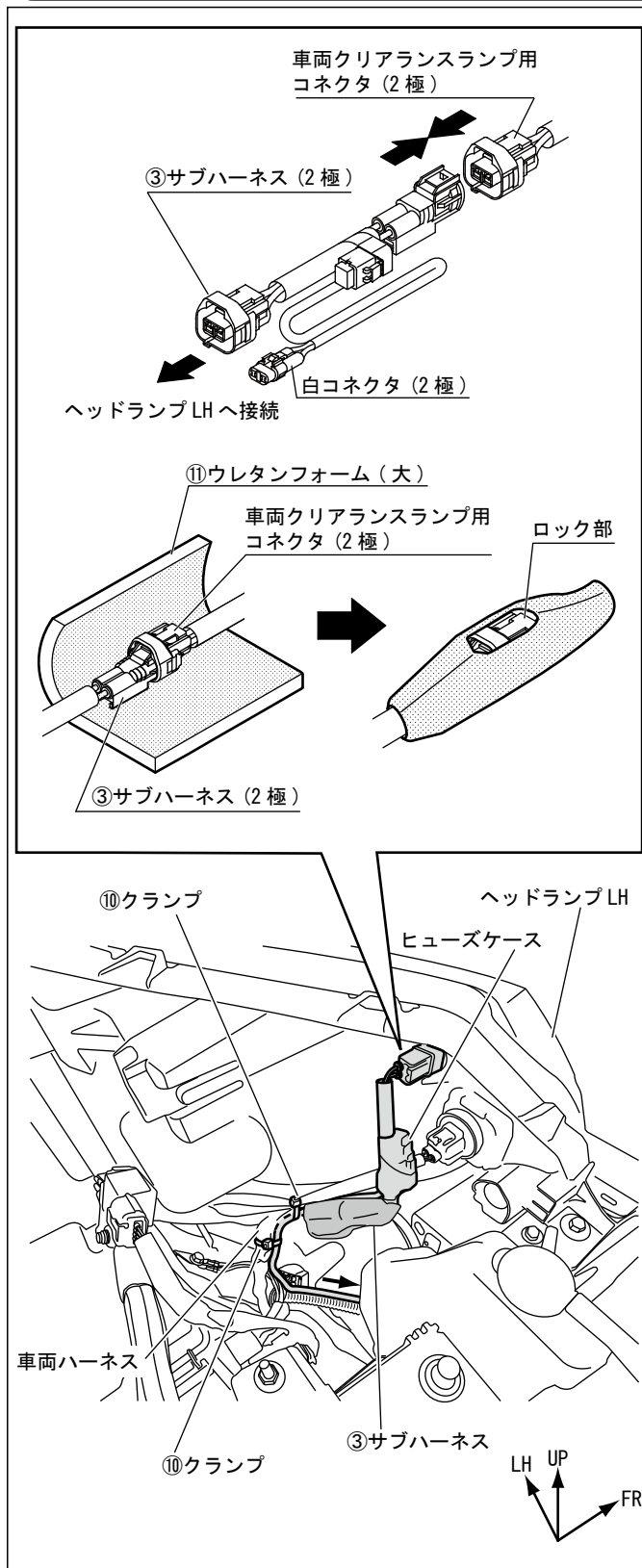


👉 アドバイス

- ・ ベースにナットを装着する際、ベースに無理な力がかからないようにフロントバンパカバー表面との隙間を確認しながら作業を行ってください。
- ・ 組み付け後、再度ポールが垂直になっているか確認し、傾きがある場合、再度ポールの垂直調整を行ってください。

(3) 仮復元していたフロントバンパカバーを再度浮かせます。

③サブハーネスの配線（ハロゲンヘッドランプ車の場合）



- (1) 車両クリアランスランプ用コネクタ (2 極) を外し、③サブハーネスのコネクタ (2 極) と接続し、残りの片側をヘッドランプ LH へ接続します。

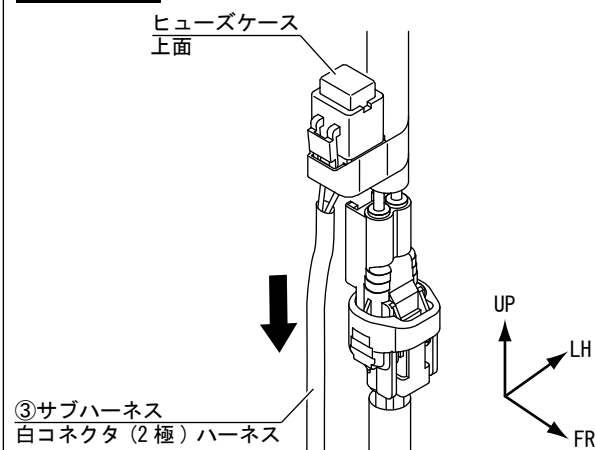
△ ご注意

- ③サブハーネスのコネクタ (2 極) は確実に接続してください。点灯不良の原因となります。
- 接続した③サブハーネスのコネクタ (2 極) と車両コネクタ (2 極) を脱脂し、異音防止のため、⑪ウレタンフォーム (大) をコネクタのロック部を避けて、貼り付けます。
- ③サブハーネスの白コネクタ (2 極) を車両ハーネスに沿わせて配線し、ヘッドランプ LH 下側へ通します。
- 左図を参照し、③サブハーネスを車両ハーネスに⑩クランプで固定します。(2 ヶ所)

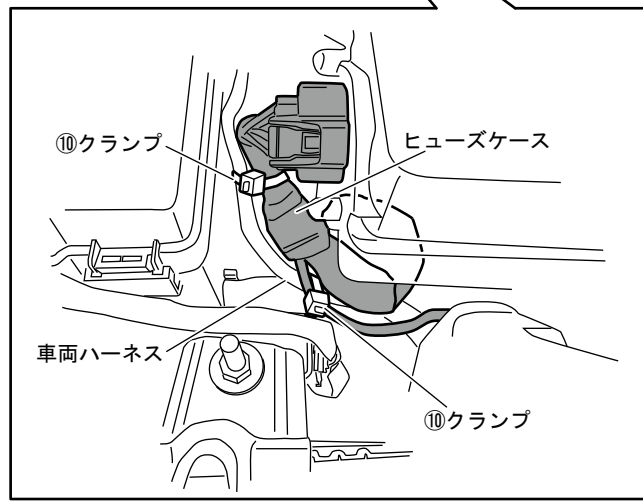
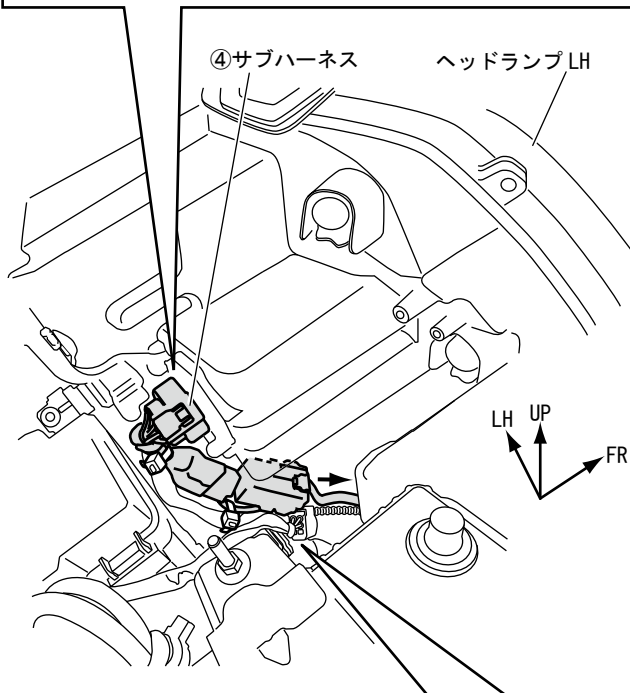
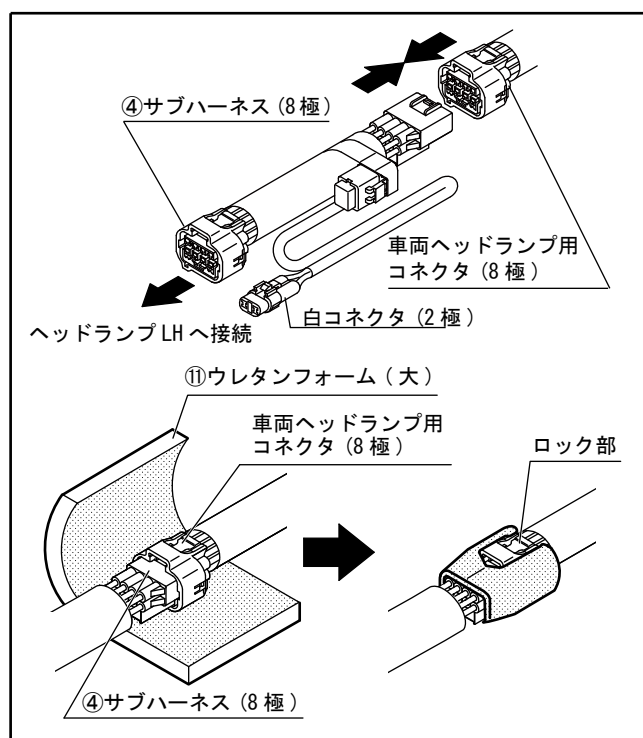
△ ご注意

- ・ ワイヤハーネスは車両板金エッジ、樹脂バリ、可動部を避けて配線し、干渉しないように確実に固定してください。
 - ・ ③サブハーネスのヒューズケース上面を上に向け、ヒューズケースから出ているハーネス側が絶対に上向きにならないように固定してください。
- また⑩クランプでヒューズケースを、締め付けると、ヒューズケースのツメが外れ、水入りの原因になりますので、ヒューズケースに⑩クランプは絶対にしないでください。

配線方向詳細



④サブハーネスの配線(LEDヘッドランプ車の場合)



- (1) 車両ヘッドランプ用コネクタ(8極)を外し、④サブハーネスのコネクタ(8極)と接続し、残りの片側をヘッドランプ(LH)へ接続します。

⚠ ご注意

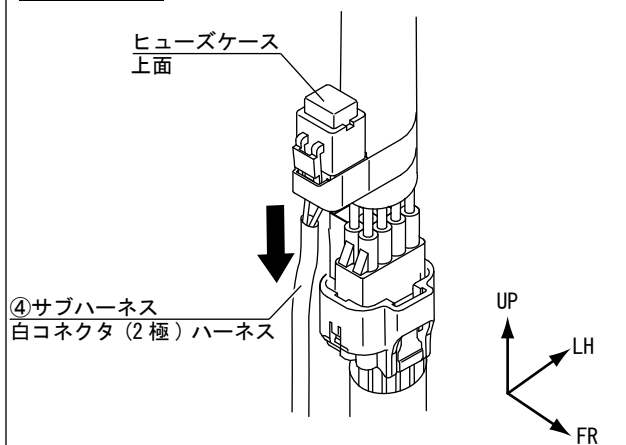
④サブハーネスのコネクタ(8極)は確実に接続してください。点灯不良の原因となります。

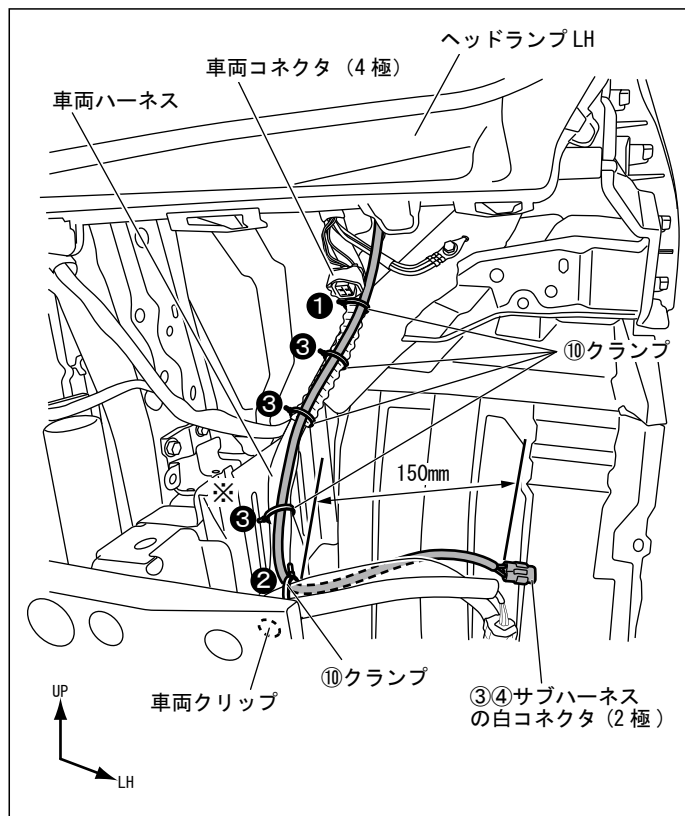
- (2) 接続した④サブハーネスのコネクタ(8極)と車両コネクタ(8極)を脱脂し、異音防止のため、⑪ウレタンフォーム(大)をコネクタのロック部を避けて、貼り付けます。
- (3) ④サブハーネスの白コネクタ(2極)を車両ハーネスに沿わせて配線し、ヘッドランプLH下側へ通します。
- (4) 左図を参照し、③サブハーネスを車両ハーネスに⑩クランプで固定します。(2ヶ所)

⚠ ご注意

- ・ ワイヤハーネスは車両板金エッジ、樹脂バリ、可動部を避けて配線し、干渉しないように確実に固定してください。
- ・ ④サブハーネスのヒューズケース上面を上に向け、ヒューズケースから出ているハーネス側が絶対に上向きにならないように固定してください。
また⑩クランプでヒューズケースを、締め付けると、ヒューズケースのツメが外れ、水入りの原因になりますので、ヒューズケースに⑩クランプは絶対にしないでください。

配線方向詳細





③④サブハーネスの取り付け

(1) 左図を参照し、③④サブハーネスを車両ハーネスに沿わせて配線します。

① 車両コネクタ (4 極) 付近に⑩クランプで固定します。(1ヶ所)

② 車両クリップ位置から、左図寸法になるように調整し、⑩クランプで固定します。(1ヶ所)

③ 左図を参照し、※部で余長処理をし、⑩クランプで固定します。(3ヶ所)

⚠ ご注意

ワイヤハーネスは車両板金エッジ、樹脂バリ、可動部を避けて配線し、干渉しないように確実に固定してください。

① フェンダーランプ Assy と ③④ サブハーネスの接続

※寸法については、⑨シェルクリップ及び
⑥スプリングナット (M8) の中心位置から計測

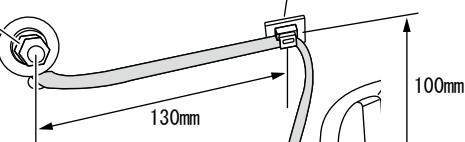
⑨シェルクリップ (※1)



向きに注意して貼り
付けてください。

⑥スプリングナット (M8)

⑨シェルクリップ (※1)



⑨シェルクリップ (※2)

⑨シェルクリップ (※2)

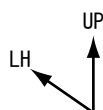


向きに注意して貼り
付けてください。

①フェンダーランプ
Assy のランプハーネス

脱脂ポイント

フロントバンパカバー
(裏側)

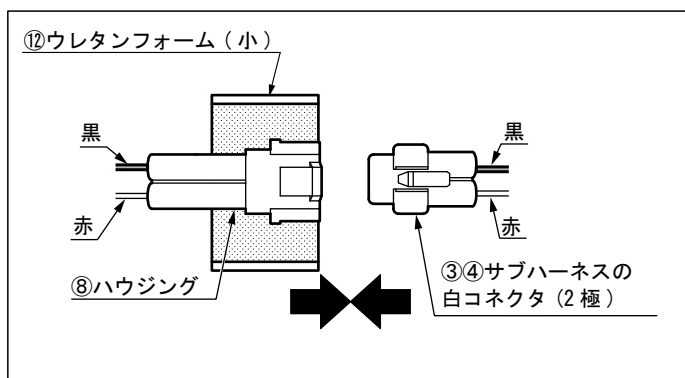
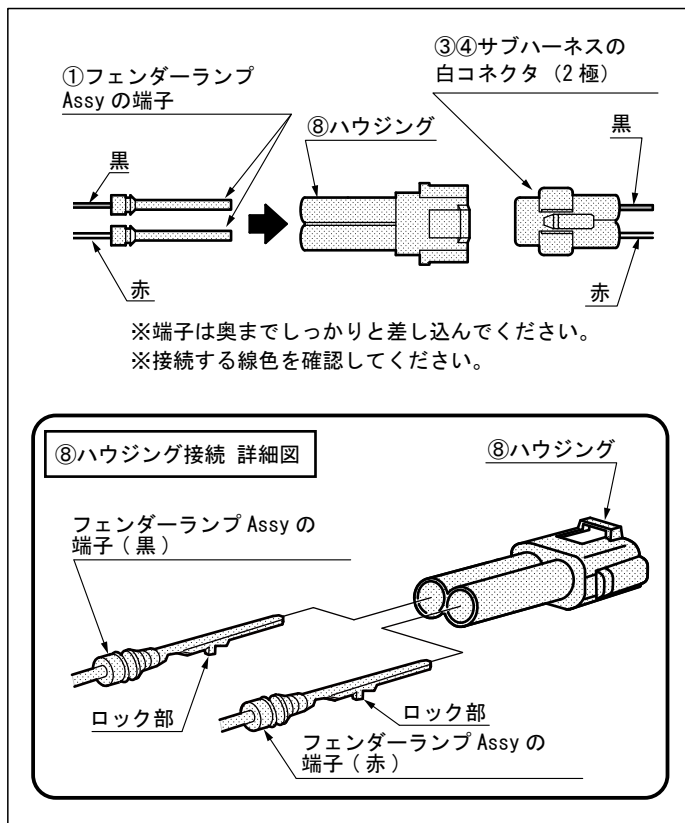


ランプハーネスの固定

- (1) 左図の位置に示す、脱脂ポイントを脱脂します。
- (2) フロントバンパカバー裏側の左図寸法位置に⑨シェルクリップを貼り付けます。(2ヶ所)
- (3) フロントバンパカバーに貼り付けた⑨シェルクリップで①フェンダーランプ Assy のランプハーネスを固定します。

△ ご注意

- ①フェンダーランプ Assy のランプハーネスは、強く折り曲げないでください。
ハーネス内の部品が壊れる可能性があります。



端子の接続

- ⑧ハウジングと③④サブハーネスの白コネクタ (2 極) の接続面を合わせます。
- ⑧ハウジングに③④サブハーネスの白コネクタ (2 極) の線色が合うよう⑧ハウジングに①フェンダーランプ Assy の端子を差し込みます。

①フェンダーランプ Assyの線色		③④サブハーネスの線色
黒	←→	黒
赤	←→	赤

- ⑧ハウジングを脱脂し、⑫ウレタンフォーム (小) を貼り付けます。
- ⑧ハウジングと③④サブハーネスの白コネクタ (2 極) を接続します。

⚠️ ご注意

①フェンダーランプ Assy の⑧ハウジングと③④サブハーネスの白コネクタ (2 極) は確実に接続してください。
不確実な接続は作動不良の原因となります。

- フロントバンパーを復元します。

⚠️ ご注意

取り外した超音波 センサ NO.1 を確実に復元してください。
不確実な接続は作動不良の原因となります。

取り付け完了後の確認

1. 取り付けの確認

- (1) 車両ハーネス及びフェンダーランプ（デザインタイプ）のハーネスに異常（噛み込み・突っ張りなど）がないことを確認してください。
- (2) 車両コネクタ及びフェンダーランプ（デザインタイプ）のコネクタに接続忘れ・接続不良がないことを確認してください。

2. 作動確認

- (1) バッテリーの（－）側ケーブルを接続し、下記方法により確認してください。

フェンダーランプ作動条件（イグニッションスイッチをONにした状態）

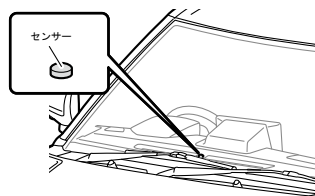
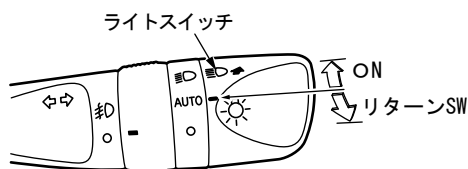
2026年7月以前の車両

ライトスイッチ位置	フェンダーランプ 先端照明	(参考) 車幅灯	作動条件
☺	点灯	点灯	—
AUTO	自動 ※1	自動	周囲が暗くなると自動点灯
○	点灯	点灯	車速3km/h以下で周囲が暗いとき
○ (約1秒以上操作)	消灯	消灯	車速3km/h以下でリターンスイッチを 約1秒以上操作したとき

2026年8月以降の車両

ライトスイッチ位置	フェンダーランプ 先端照明	(参考) 車幅灯	作動条件
☺	点灯	点灯	—
AUTO	自動 ※1	自動	周囲が暗くなると自動点灯
○ (約1秒以上操作)	点灯	点灯	自動点灯中で次のいずれかの状態のとき ・車速が約3Km/h以下 ・停車中から発進後約20秒経過していない、かつ車速が約15Km/h以下
○ (約2秒以上操作)	消灯	消灯	停車中で次のいずれかの状態のとき ・シフトレバーがP ・パーキングブレーキがかかっている

※1) ライトスイッチ位置がAUTOのときはセンサーが周囲の照度を検知し自動で点/消灯します。



※車種によってセンサーの位置は左図イラストとは異なります。

アドバイス

昼間明るい場所で点灯、消灯を確認する場合は灯体部を手で覆って暗くした状態で確認してください。

復元作業

「作動確認」完了後、取り外した部品を元通りに取り付けてください。

△ ご注意

1. 車両部品組み付け時ハーネスのかみ込みに注意してください。
2. バッテリー（－）端子接続後、初期設定の必要なものは初期設定を行ってください。

トラブルシュート

1 点灯しない

イグニッションを「ON」にして車幅灯は点灯していますか？

NO

ライトスイッチを⑩にし、車幅灯を点灯させてください。

YES

コネクタ類は確実に接続されており、ヒューズは切れていませんか？

NO

コネクタ類を確実に接続し、ヒューズを点検及び交換をしてください。

YES

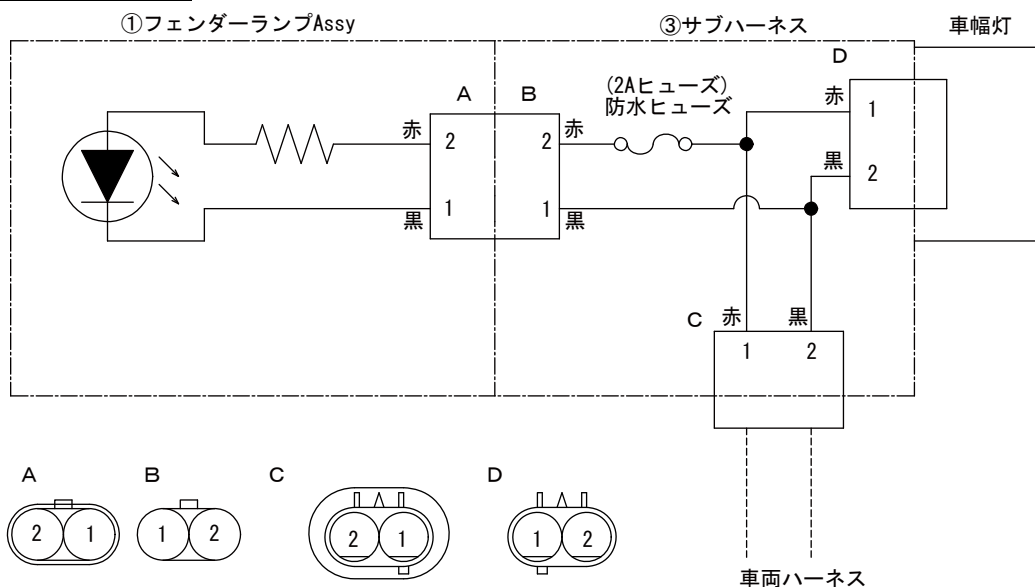
①フェンダーランプAssyのランプハーネスの赤色ハーネスに⊕、黒色ハーネスに⊖を接続して、ポール先端部は点灯しますか？

NO

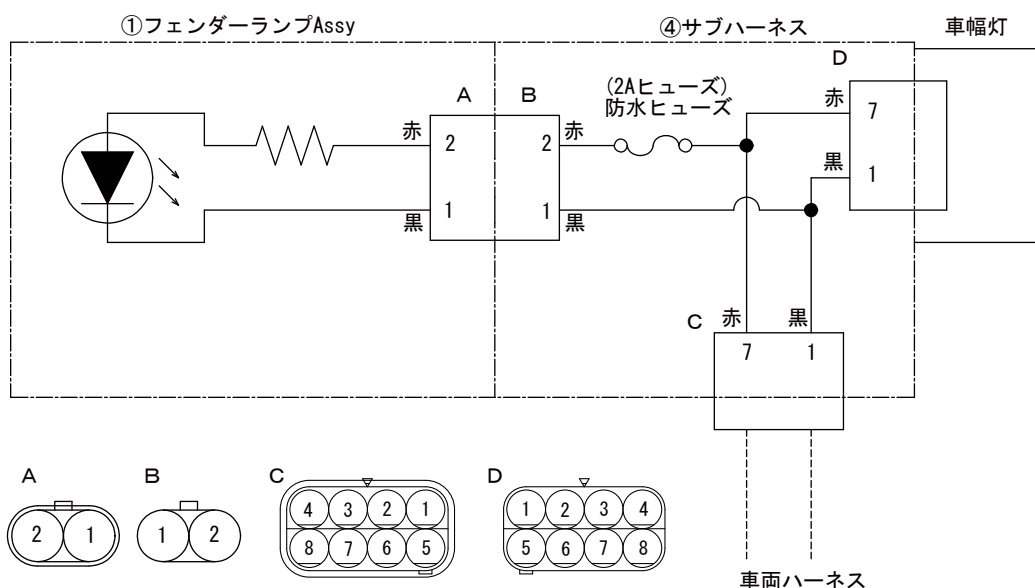
フェンダーランプ（デザインタイプ）をセットで交換してください。

配線図

ハロゲンヘッドランプ車の場合



LEDヘッドランプ車の場合



※ 上記コネクタ略図は、コネクタ接続側を示しています。

仕 様

項 目	仕 様
定 格 電 圧	D C 1 2 . 0 V
消 費 電 力	1 2 V : 0 . 2 W
使 用 電 圧 範 囲	D C 1 0 . 0 V ~ 1 6 . 0 V
使 用 温 度 範 囲	- 3 0 ° C ~ + 8 0 ° C
使 用 光 源	L E D (青 色)
質 量	【ハロゲンヘッドランプ車】 222. 4 g (⑬~⑭を除く) 【LED ヘッドランプ車】 260. 5 g (⑬~⑭を除く)

注：仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。

取り付け店様へのお願い

- 必ずお客様に操作要領を説明してください。
- 別冊（別紙）の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。